基本操作取扱説明書

保証書付

デジタルムービーカメラ
品番 DMX-WH1E

準　備

撮　影

再　生

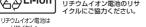
テレビに接続する

Eye-Fi 連動機能

付　録

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**も必ずお読みください。また、後々のために本書とともに大切に保管してください。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本書の読みかた

この説明書では、次の記号でお知らせします。

もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

特に注意していただきたい事項

[P　] 参照ページ

初めての方は

本書をお読みになり、カメラの操作に慣れてください。

いろいろな機能を使う方は

詳細な機能を説明した取扱説明書は、弊社のホームページで入手することができます。

<弊社ホームページへのアクセス方法>

①付属のXacti Software CD をパソコンにセットする
②インストール画面の [Xacti WH1E Web サポートページへ] をクリックする
③画面上のメッセージに従って , 取扱説明書をダウンロードする
※取扱説明書を参照するには Adobe Reader が必要です。Adobe Reader を入手するホームページには、弊社ホームページからアクセスできます。必要に応じて Adobe Reader を入手してください。

また、弊社のホームページでは、撮影シーンに応じたカメラの設定方法を紹介しております。弊社のホームページには、Xacti Software CD のインストール画面からアクセスできます。

操作中に疑問に感じたり故障かな？と思った時は、「よくある質問 [P43]」をご参照ください。

ご愛用者登録について

インストール画面から、ご愛用者登録およびアンケートのご記入をお願いいたします。
http://e-life-sanyo.com/support/user.html

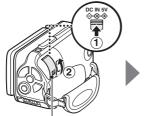
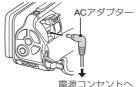
撮る・見る そして保存する

準備する

1 カメラに AC アダプターを接続する

① ［DC IN］端子カバーのロックをはずす

② ［DC IN］端子カバーを開ける

電源コンセントへ

撮影する

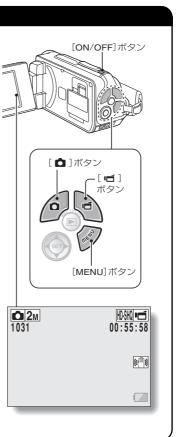
1 [ON/OFF] ボタンを1秒以上押して電源を入れる

- 日付時刻設定画面が出た場合は、[MENU]ボタンを2回押して消してください。

設定方法→P20

2 撮影する

動画で撮る：
- [ ]ボタンを押すと撮影を開始します。
- もう一度[ ]ボタンを押すと撮影を終了します。

写真を撮る：
- [ ]ボタンを押すと撮影します。
- 1枚の静止画を撮影します。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

- 万一、カメラまたはカードなどの不具合で、撮影や録音ができなかった場合の記録内容やその他の補償につきましてはご容赦ください。

再生する

1 [REC/PLAY] ボタンを押す

- 再生画面に切り替わります。

2 再生する画像を選ぶ

- 方向ボタンを押して、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせてください。
- オレンジ色の枠を合わせた画像の情報が、モニターの下部に出ます。

再生する(つづき)

3 [SET] ボタンを押す

＜動画クリップを再生する＞

- 再生を開始します。

＜撮影状態に戻るには＞

- [REC/PLAY]ボタンを押してください。

使い終わったら・・

[ON/OFF]ボタンを約1秒以上押して電源を切ってください。

続いての作業を行なうには

お使いのパソコンが、インターネットに接続されていることを確認してください。

撮影した動画クリップをDVDに書き込む（Windows Vistaの場合）

付属の CD-ROM（Xacti Software CD：ザクティー・ソフトウェア・シーディー）を使うと、撮影した画像を DVD に書き込むことができます。

アプリケーションプログラムをインストールする

1 付属の CD-ROM をパソコンの DVD ドライブにセットする

- インストール画面が出ます。

2 [TotalMedia Extreme for SANYO] をクリックする

- クリックした後は、画面表示に従ってインストールしてください。
- パソコンの再起動を確認する画面が出たら、[完了]ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

3 パソコンのDVDドライブからCD-ROMを取り出す

撮る・見る そして保存する(つづき)

スロットカバーを開ける

① スロットカバーロックを
［UNLOCK］側に押した状態で

② スロットカバーを開ける

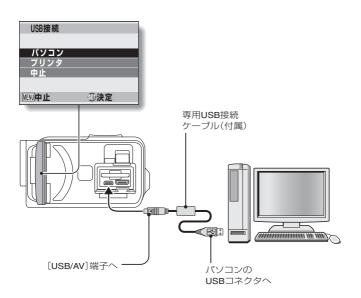
カメラをパソコンに接続する

カメラをパソコンに接続し、ファイルをパソコンにコピーしてください。

1 付属の専用USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

2 カメラの電源を入れる

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

撮る・見る そして保存する(つづき)

3 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

4 [カードリーダー] を選び、[SET] ボタンを押す

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[マイコンピュータ]に[XACTI(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

5 カ ード内のファイルをパソコンのハードディスクにコピーする

- カメラで記録したデータは、以下のフォルダ内にあります。ハードディスクの任意のフォルダにコピーしてください。
  XACTI(E:)¥DCIM¥***SANYO
  (***には番号が入ります)
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

ヒント

- カメラで撮影した静止画や動画クリップファイルを一度にコピーする方法は、以下のホームページのサポート情報を参照してください。
  http://www.sanyo-dsc.com/

動画クリップを DVD に書き込む(Windows Vista の場合)

撮影したデータを mpeg2 フォーマットで DVD ディスクに書き込む方法を紹介します。他の操作方法については、TotalMedia Extreme のヘルプファイルを参照してください。TotalMedia Extreme のヘルプファイルは、TotalMedia Extreme の開始画面のヘルプボタン [?] をクリックすると参照できます。

1 パソコンの DVD ドライブにブランクの DVD ディスクを入れる

2 デスクトップの [TotalMedia Extreme] アイコンをダブルクリックする

● TotalMedia Extremeが起動し、開始画面が出ます。

[ビデオの作成]アイコン

3 [ビデオの作成] アイコンをクリックする

- 「DVDディスクの作成」画面が出ます。

4 「挿入」欄の[ビデオ]ボタンをクリックする

- DVDディスクに書き込む動画クリップファイルを選ぶ画面が出ます。
- DVDディスクに書き込むファイルをクリックしてください。
- 複数のファイルを選ぶ場合は、[Ctrl]キーを押した状態でファイルをクリックしてください。

5 [開く] ボタンをクリックする

- 操作 4 で選んだファイルとDVDディスクに書き込むファイルの容量が、「DVDディスクの作成」画面に出ます。

[デザイン]タブ

撮る・見る そして保存する(つづき)

6 [デザイン] タブをクリックする

- DVDディスクを再生する時のタイトルメニューをデザインする画面が出ます。
- お好みのデザインを選んでください。

7 [プレビュー / プロデュース] タブをクリックする

● プレビュー画像の画質についての注意が出ます。

8 [OK] ボタンをクリックする

● 書き込みを開始する画面が出ます。

[書き込み]ボタン

9 [書き込み] ボタンをクリックする

● プロジェクトの保存を確認する画面が出ます。

10 [はい] ボタンをクリックする

- プロジェクトファイルの名前を入力してください。

11 [保存] ボタンをクリックする

- 「ディスクの書き込み」画面が出ます。

[OK]ボタン

12 [OK] ボタンをクリックする

- 書き込みを開始します。
- パソコンの性能によっては、ファイルのサイズが大きいと書き込みに時間がかかる場合があります。
- 書き込みが終わったら、DVDドライブからDVDディスクが出てきます。

13 [OK] ボタンをクリックする

14 「DVD ディスクの作成」画面のクローズボタン [×] をクリックする

● TotalMedia Extremeの開始画面が出ます。

15 開始画面のクローズボタン [×] をクリックする

● TotalMedia Extremeが終了します。

注意!

MPEG-2コーデックを有効にする確認画面が出た?
TotalMedia Extremeを初めて使う場合は、操作中にMPEG-2コーデックを有効にする確認画面が出ます。MPEG-2コーデックを有効にしないと、DVDディスクへの書き込みができません。MPEG-2コーデックを有効にするために、以下の操作を行ってください。

- なお、この操作は、お使いのパソコンがインターネットに接続されていないと行なえません。パソコンがインターネットに接続できることを確認してください。

①MPEG-2コーデックを有効にする確認画面が出たら、[はい]ボタンをクリックする
- ArcSoft社のホームページが出ます。

②[スペシャルダウンロード]をクリックする
- メールアドレスや姓名、ライセンスIDなどを入力する画面が出ます。
- それぞれを正しく入力してください。

③[送信]ボタンをクリックする
- しばらくすると、操作②で入力したメールアドレスに、MPEG-2コーデックを有効にするためのダウンロード用URLが送られてきます。

④ダウンロード用URLをクリックする
- プログラムがダウンロードされます。

⑤ダウンロードしたプログラムのアイコンをダブルクリックする
- メッセージに従って操作すると、MPEG-2コーデックが有効になります。
- TotalMedia ExtremeでDVDディスクに書き込むことが可能になります。
- 以上の操作が終わったら、引き続きDVDディスクへの書き込み操作を行ってください。

カスタマサポート情報
ホームページ:http://www.arcsoft.com/public/content_page.asp?pageID=529
電話によるお問い合わせ:0570-06-0655(ナビダイヤル)
受付時間:月～金曜日(除く祝日)10:00～12:00、13:00～18:00
Eメールによるお問い合わせ:support@arcsoft.jp

重要！ 防水機能について

このカメラは JIS IPX8(旧 JIS 保護等級 8)の防水機能を備えており、水中で使用できますが、以下の注意事項を守らずに故障や事故が起こった場合は保証の対象外になります。下記の注意をよくお読みの上お使いください。

⚠ 注意

■使用前の注意

- 電池カバーやスロットカバー、[DC IN]端子カバーを閉じる時は、各カバーのゴム部分に砂や髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。
- 電池カバーやスロットカバー、[DC IN]端子カバーを完全に閉じていないと、浸水の原因になります。各カバーは確実に閉じてください。
- 付属品は防水に対応しておりませんので、ご注意ください。

■水中での注意

- 防水機能は真水と塩水にのみ対応しており、洗剤や薬品、温泉などには対応しておりません。飛まつがかかった時は、すみやかにふき取ってください。
- 3.0m以上深い場所に浸けないでください。
- 強い水圧をかけないでください。
- 60分以上水中に浸けないでください。60分間の水中での使用した後は、10分間ほど水から上げてください。
- 40℃以上のお湯に浸けないでください。
- カメラが濡れている時や水中で電池カバーやスロットカバー、[DC IN]端子カバーの開け閉めをしないでください。
- 濡れた手で、電池カバーやスロットカバー、[DC IN]端子カバーの開け閉めをしないでください。
- 浜辺やプールサイドで電池カバーやスロットカバー、[DC IN]端子カバーを開けないでください。
- 水中でカメラに衝撃を与えないでください。電池カバーやスロットカバー、[DC IN]端子カバーが開くおそれがあります。

⚠ 注意

■保管やお手入れの注意

- 塩水に浸した状態や塩水が付着した状態で放置しないでください。メッキ部品の腐食や変色、防水機能の劣化の原因になります。
- 水中で使った後は、真水で洗ってください。石鹸や中性洗剤は使用しないでください。防水機能の劣化の原因になります。
- カメラを洗った後は水抜きをしっかりと行い、カメラに付いた水滴は、乾いた布でふき取ってください[P34]。
- 0℃以下の低温や40℃以上の高温になる場所に放置しないでください。防水機能が劣化する場合があります。
- このカメラには、防水用のパッキンが使われています。防水用のパッキンは、約1年ごとに交換することをお勧めします。交換は、お買い求めの販売店または修理相談窓口にお申し付けください。
  ※防水用パッキンの交換は有料です。

■その他

- カメラに強い衝撃を与えないでください。カメラの各カバーやカメラ本体が変形し、防水機能が劣化する場合があります。カメラに強い衝撃を与えた場合は、お買い求めの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

「JIS IPX8(旧JIS保護等級8)」とは?
- 指定圧力の水中で使用できることを意味します。

水中撮影の前に

電池カバー [P12] やスロットカバー [P9]、[DC IN] 端子カバー [P13] が閉じていることを確認してください。
カバーが開いていると、カメラ内部に水が入って故障します。
電池カバーやスロットカバー、[DC IN] 端子カバーを閉じる時は、各カバーのゴム部分に砂や髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。

もくじ

■準備

■撮影

■再生

■テレビに接続する

■Eye-Fi連動機能

■付録

付属品を確認する

●CD-ROM（Xacti Software CD）：1枚[i・vi]

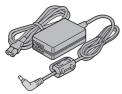
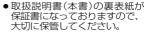
●グリップベルト：1本[P4]

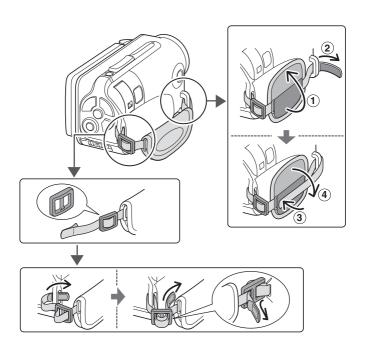
●専用USB接続ケーブル：1本[viii]

●リチウムイオン電池：1個[P12]

●ACアダプターと電源コード：1式[P13]

●コア：（1 個）[P39]
HDMI ケーブル用

●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。

●基本操作取扱説明書/保証書
- 取扱説明書（本書）の裏表紙が保証書になっておりますので、大切に保管してください。

付属品の使いかた

■グリップベルト

別売品とカードについて

別売品

- **ミニHDMIケーブル(品番：VCP-HDMI02)**
  カメラの[HDMI]端子に接続するケーブルです。
- **リチウムイオン電池充電器(品番：VAR-L50)**
  付属または別売のリチウムイオン電池(品番:DB-L50)の充電器です。
- **リチウムイオン電池(品番：DB-L50)**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。
- **フロートストラップ(品番：VCP-S06F)**
  水中にカメラを落としても沈まない、浮力を持ったストラップです。
- **カメラケース(品番：VCP-C04)**
  ショルダーベルト付きのソフトケースです。

このカメラで使えるカードについて

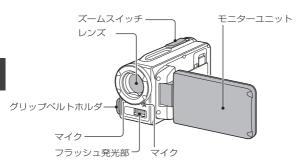
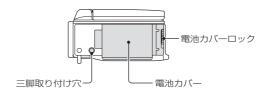
このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**
- **SDHCメモリーカード**

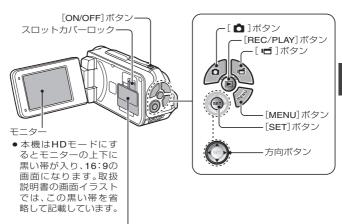
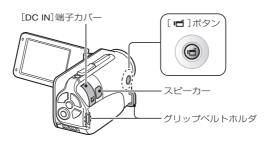
カードの表記について

- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリカードやSDHCメモリカードを「カード」と表記します。

各部の名前

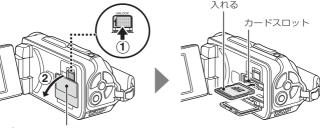
前面

底面

このカメラには水が溜まる部分がありますが、防水機能に問題はありません。
水中で使った後の取り扱いについては、34ページを参照してください。

後面

- 本機はHDモードにするとモニターの上下に黒い帯が入り、16:9の画面になります。取扱説明書の画面イラストでは、この黒い帯を省略して記載しています。

カードを装着する

購入直後のカードや他の機器で使っていたカードは、必ずフォーマットしてから使ってください。フォーマットせずに使うと、カード本来の機能を活かせない場合があります。

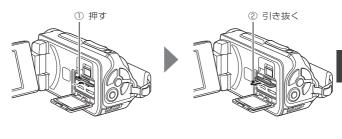
① スロットカバーロックを［UNLOCK］側に押した状態で

③ カードをカードスロットに入れる

② スロットカバーを開ける

⑤ カチッと音がするまで閉じる
- 赤色の部分が見えなくなるまでスロットカバーを押し、しっかりと閉じてください。

④ カチッと音がするまで入れる

<カードの取り出しかた>

●カードを取り出す時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。

注意!

スロットカバーは確実に閉じてください

●スロットカバーを閉じていなかったり、閉じかたが不十分な場合、カメラの防水機能が働きません。スロットカバーを閉じる時は、スロットカバーのゴム部分に砂や髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。

カードは無理に抜かない

●カードやカード内のファイルを破損するおそれがあります。

マルチインジケータが赤色で点滅している時は・・・

●絶対にカードを取り出さないでください。カード内のファイルを破損するおそれがあります。

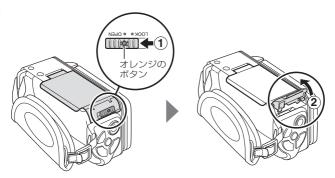
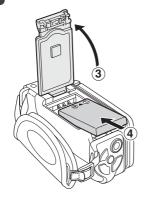
ヒント

カードがなくても撮影できます

●カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しない場合は内蔵メモリで撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、モニターに内蔵メモリアイコン INT が出ます。

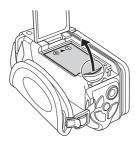
充電する

付属の電池は、充電してから使ってください。電池は、電池をカメラに装着し、AC アダプターを接続して充電します。また、AC アダプターを接続すると電源コンセントから電源を取ることができます。

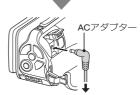
1 電池カバーロックの小さなオレンジ色のボタンを押した状態で電池カバーロックを押し(①)、電池カバーのロックを解除する(②)

2 電池カバーを開けて(③)、電池を入れる(④)

3 電池カバーを閉じ(①)、電池カバーを電池カバーロックでロックする(②)

- 電池カバーロックが[LOCK]の位置になるよう、しっかりと閉じてください。

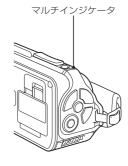
<電池を取りはずす時は・・・>

● 電池を起こして取り出してください。

4 AC アダプターと電源コンセントを電源コードで接続する

● 充電を開始します。

① ［DC IN］端子カバーのロックをはずす

② ［DC IN］端子カバーを開ける

<充電中は・・・>

- 充電中はマルチインジケータが赤色で点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 電池の異常や装着が不完全な場合は、マルチインジケータが赤色点滅します。電池を装着し直してください。
- 充電時間は約200分です。

注意!

電池カバーと[DC IN]端子カバーは確実に閉じてください

- 各カバーを閉じていなかったり、閉じかたが不十分な場合、カメラの防水機能が働きません。各カバーを閉じる時は、各カバーのゴム部分に砂や髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。

長時間使用した直後に充電しない

- カメラを長時間使用した直後は電池が熱くなっています。この状態で充電しようとすると、マルチインジケータが赤色で点滅して充電できない場合があります。長時間使用した後は、電池の温度が下がってから充電してください。

電池が膨らんだ?

- 本製品に使われているリチウムイオン電池は、高温環境での保存や繰り返しの使用によって電池が膨らむことがあります。安全上の問題はありませんが、膨らんで装着しにくくなった電池は取り出せなくなる恐れがあります。このような電池は使用をやめて、新しい電池をお買い求めください。

充電する（つづき）

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しない時は電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しない時は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池をはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

USB接続時に充電できます

- パソコンに接続すると、カメラの電池に充電ができます。
- ただし、充電時間は、カメラの動作状態によって異なります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。
- 長時間使用しない場合は、安全のため専用USB接続ケーブルをカメラから取りはずしてください。

充電動作について

充電は、カメラの電源が切れているかパワーセーブ状態、またはスタンバイ状態の時に行ないます。撮影や再生状態時は充電を行ないません。

温度警告アイコンについて

カメラ使用中に電池の温度やカメラ内部(電池以外)の温度が上昇すると、下記のように温度警告 アイコンがお知らせします。

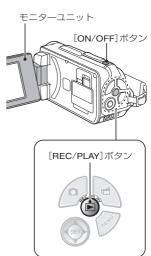
■ カメラ使用中に電池の温度やカメラ内部(電池以外)の温度が上昇すると

- カメラ使用中に電池やカメラ内部(電池以外)の温度が上昇すると、モニターに アイコンが点灯します。アイコンが点灯しても撮影 / 再生はできますが、このような場合はできるだけ早く使用を中止し、電源を切ってください。
- 温度がさらに上昇した場合は、アイコンが点滅したあと、自動的に電源が切れます。
  温度が下がらないと電源が入りません(アイコンが点滅)。
  温度が下がるのを待ってから使用を再開してください。
- 動画撮影中には、撮影停止までのカウントダウン表示が約15秒から始まり、表示が0秒になると撮影が停止します。
- 温度が上昇しているとき(アイコンが点灯中)に電源を切ると、温度が下がるまでは、電源が入りません(アイコンが点滅)。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

1 モニターユニットを開け、[ON/OFF] ボタンを 1 秒以上押す

- [REC/PLAY]ボタンを1秒以上押すと、再生モードで電源を入れることができます。
- [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約5分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下のいずれかの操作をすると電源が入ります。

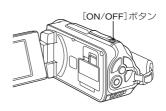
- **[ON/OFF]ボタンを押す**
- **モニターユニットを開ける**
- **[📷]/[🎥]ボタンを押す**
- **SETボタンを押す**

※[MENU]ボタンを押して電源を入れた場合は、操作音を設定する画面が出ます。

- パワーセーブ状態になって約1時間以上経過すると、スタンバイモードになります。スタンバイモードになった場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れるか、モニターユニットを一度閉じて開けてください。
- ACアダプターを接続している場合、電源を入れてから約5分後にパワーセーブ機能が働きます(工場出荷時の設定)。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、オプション設定メニューで変更することができます[P27]。
- カメラにパソコンまたはプリンタを接続している場合は、約12時間後にパワーセーブ状態になります。

電源の切りかた

1 [ON/OFF] ボタンを約 1 秒以上押す

- 電源が切れます。

すぐにパワーセーブ状態にするには

● [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

スタンバイモードについて

● モニターユニットを閉じると、電源をほとんど消費しないスタンバイモードになります。スタンバイモードでは、モニターユニットを開けるとすぐに電源が入って、撮影や再生操作が可能になります。カメラの使用を一時的に中止し、またすぐに使用するような場合は、スタンバイモードをご利用ください。

注意！

⏲?アイコンが出る？

● このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付･時刻の設定[P20]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため電源を入れた直後に「日付時刻を設定してください」というメッセージが、撮影画面には⏲?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影/録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。
※日付・時刻の修正方法は、22 ページの「ヒント」を参照してください。

[例]：2009年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 電源を入れ [P17]、[SET] ボタンを押す

- 日付時刻設定画面が出ます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを2回押してください。

2 日付を設定する

❶[日付]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。

❸日付を「2009年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。

方向ボタンの[◀]/[▶]を押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
方向ボタンの[▼]/[▲]を押す：数値が増減します。

❹[SET]ボタンを押す

日付・時刻を設定する(つづき)

3 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。

❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。

❹[SET]ボタンを押す

4 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。

❸方向ボタンの[▼]/[▲]を押す

● [▲]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年→

[▼]を押すと、逆に切り替わります。

❹[SET]ボタンを押す

5 [MENU] ボタンを押す

- 日付･時刻の設定が終わりました。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを押してください。

- このカメラは電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付･時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作 1)。

日付･時刻を修正するには

①電源を入れる
②オプション設定メニュー1を出す[P27]
③[日付時刻]を選び、[SET]ボタンを押す
　･日付時刻設定画面が出ます。
　･この状態で、現在の設定内容が確認できます。
④修正する行を選び、表示を修正する

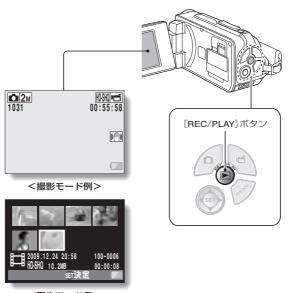
撮影／再生モードを切り替える

撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。

1 電源を入れる [P17]

2 [REC/PLAY] ボタンを押す

- モードが切り替わります。
- [REC/PLAY]ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。

＜撮影モード例＞

＜再生モード例＞

動作モードを切り替える

「シンプルモード」は、このカメラの機能の中でも使用頻度が高く、必要な機能だけで構成した動作モードです。一方「ノーマルモード」は、このカメラの機能をフルに使用する場合の動作モードです。それぞれ、目的に応じたモードを選んで、ご使用ください。

シンプル/ノーマルモードの切り替えかた

1 電源を入れる [P17]

- 前回設定したモードになります。

2 [MENU] ボタンを押す

- モードに応じたメニュー画面が出ます。

3 動作モードアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- シンプルモードからノーマルモードまたは、ノーマルモードからシンプルモードへと切り替わります。
- メニュー画面は、[MENU] ボタンを押すと消えます。

<シンプルモードメニュー画面>

<ノーマルモードメニュー画面>

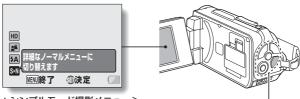
動作モードを切り替える(つづき)

シンプル/ノーマルモードメニュー画面の出しかた/消しかた

1 撮影または再生モードに設定する [P23]

2 動作モードを設定する [P24]

3 メニュー画面を消している場合は、[MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が出ます。
- メニュー画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

<例：シンプルモード撮影メニュー>

<例：ノーマルモード撮影メニュー>

準備　動作モードを切り替える

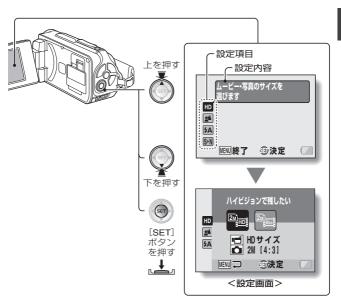
シンプルモードメニューの操作方法

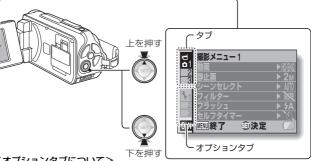
4 方向ボタンの [▼]/[▲] を押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ項目の設定画面が出ます。

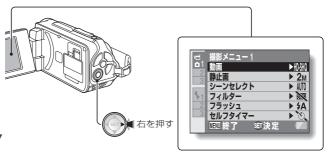
＜設定画面＞

動作モードを切り替える(つづき)

ノーマルモードメニューの操作方法

4 方向ボタンの [▼]/[▲] を押してタブを選ぶ

- 選んだタブのメニュー画面が出ます。

<オプションタブについて>
- オプションタブを選ぶと、オプション設定メニューが出ます。
- オプション設定メニューでは、日付時刻などカメラの基本機能を設定することができます。

5 方向ボタンの [►] を押す

6 方向ボタンの [▼]/[▲] を押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ項目の設定画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

上を押す

下を押す

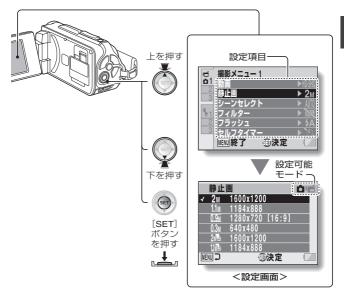
［SET］ボタンを押す

設定項目

撮影メニュー1
動画 ▶HD-SHQ
静止画 ▶ 2M
シーンセレクト ▶ AUTO
フィルター ▶
フラッシュ ▶ ⚡A
セルフタイマー ▶
MENU 終了 SET 決定

設定可能モード

静止画
✓ 2M 1600x1200
1.1M 1184x888
0.9M 1280x720 [16:9]
0.3M 640x480
2M 1600x1200
1.1M 1184x888
MENU ↩ SET 決定

<設定画面>

設定可能モード表示について

- 表示中の設定が反映される撮影モードを示します。
- 📷 ：静止画撮影時に反映されます。
- 🎥 ：動画クリップ撮影時に反映されます。
- 📷 🎥 ：静止画および動画クリップ撮影時に反映されます。

動画クリップ撮影をする

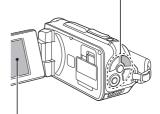
1 電源を入れ [P17]、撮影モードにする [P23]

2 [ ] ボタンを押す

- 録画が始まります。
- [ ]ボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影可能時間が少なくなると、残りの撮影可能時間が出ます。

3 撮影を終了する

- もう一度[ ]ボタンを押すと、録画を終了します。

[ ]ボタン

撮影時間

残りの撮影可能時間

1 枚撮影をする

1 枚の静止画を撮影します(1 枚撮影)。

1 電源を入れ [P17]、撮影モードにする [P23]

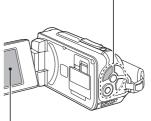
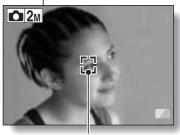
2 [ ] ボタンを押す

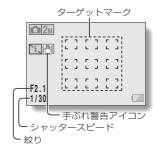
❶[ ]ボタンを半分押す

- オートフォーカスが働き、ピントが合います(フォーカスロック)。

❷さらに[ ]ボタンを押す

- シャッターが切れます。
- このまま、[ ]ボタンを押したままにしていると、撮影した画像をモニターで確認することができます。

❷
ターゲットマーク

モニターの明るさを変えることができます
- 撮影画面が出ている時に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、モニターの明るさを設定する画面が出ます。

どこにピントが合ってるの？
- ピントが合った位置には、ターゲットマークが出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は、大きなターゲットマークが出ます。

シャッタースピードと絞り値が出ます（ノーマルモード時）
- 撮影画面にシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら？（ノーマルモード時）
- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光に設定してください。
- シーンセレクト機能の花火モード撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

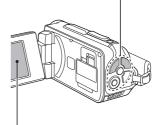
動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

動画クリップ撮影中に、静止画撮影(1枚撮影)ができます。

1 電源を入れ [P17]、撮影モードにする [P23]

2 [動画] ボタンを押す

3 静止画の撮影チャンスになったら、[カメラ] ボタンを押す

4 [動画] ボタンを押して、撮影を終了する

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする(つづき)

ヒント

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影の場合、フラッシュは発光しません。
- 撮影可能時間が約50秒以下になると、動画クリップ撮影中の静止画撮影ができなくなります。静止画撮影ができなくなる撮影可能時間は、被写体や撮影サイズ、動画モードの設定によって異なります。動画クリップ撮影中に静止画撮影をする場合は、撮影可能時間にご注意ください。

静止画の撮影サイズについて

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影サイズは動画クリップの撮影サイズの設定に依存します。

動画クリップ撮影サイズの設定	静止画撮影サイズ
HD-SHQ	0.9M (16：9)
TV-HR TV-SHQ	1.1M (4：3)

※連写撮影はできません。

水中で使った後は

水中で使った後は、カメラを真水で洗ってよく乾かしてください。

1 電源を切り、電池カバーとスロットカバーをしっかりと閉める

2 真水で洗う

- 洗面器など底の浅い容器に真水を溜め、5分間ほどつけ置き洗いをした後、モニターユニットを数回回転させて、よく洗ってください。

3 カメラを乾かす

- 水滴を乾いた布で完全にふき取り、風通しの良い日陰でよく乾燥してください。
- ドライヤーを使うなど、高温での乾燥は避けてください。カメラの変形や防水パッキンが変形する原因になります。

グリップベルトについて

- グリップベルトは、カメラからはずして真水で洗ってください。
- 洗った後は､日陰で乾かしてください。

動画／静止画を再生する

1 再生モードにする [P23]

2 再生する画像を選ぶ

- 方向ボタンを押して、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせてください。
- オレンジ色の枠を合わせた画像の情報が、モニターの下部に出ます。

3 [SET] ボタンを押す

- 操作 2 で選んだ画像が、モニターいっぱいに出ます。
- 動画クリップの場合は、再生を開始します。

<再生するファイルを選ぶ画面に戻るには>
方向ボタンの[▼]を押す

動画クリップの再生操作

こうするには		こうします
順方向再生		[SET]ボタンを押す
再生中止		再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止		再生中に[SET]ボタンを押す 倍速/スロー再生中は方向ボタンの[▲]を押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押す
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押し続ける
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に方向ボタンの[▶]を押す ※方向ボタンの[▶]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◀]を押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に方向ボタンの[◀]を押す ※方向ボタンの[◀]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[▶]を押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[SET]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**：再生中にズームスイッチを[T]側に押す **小さくする**：再生中にズームスイッチを[W]側に押す

再生画面にアイコンが出る？

- 分割保存されたファイルの再生画面にはアイコンが出ます。再生は連続して行なえますが、ファイルのつなぎ目では一時停止します。

動画／静止画を再生する(つづき)

動画クリップ中の1コマを静止画にする

1 動画クリップを再生し、静止画にしたい位置で一時停止する

2 [📷] ボタンを押す

- 静止画の縦横比を選ぶ画面が出ます。縦横比を選んで[📷]ボタンを押してください。ただし、動画クリップの縦横比が4：3の場合、16：9で静止画を保存することはできません。

ヒント

動画クリップは、ファイル量が多くなります

- 撮影したファイルをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターやテレビでは、正常に再生できます)。
- 撮影可能時間以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

動画クリップの再生位置を表示できます

- 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
- 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。

注意!

動画クリップ再生時に動作音がする？

- 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

音声が出ない？

- コマ送り、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

テレビに接続する

カメラをテレビに接続すると、カメラのファイルをテレビで再生することができます。
※カメラをテレビに接続するには 、ミニ HDMI ケーブル（別売）が必要です。

注意!

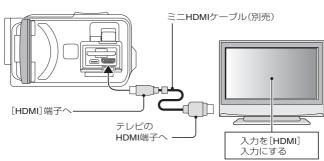
ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

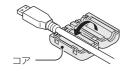
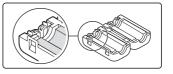
映像出力について：テレビ接続時の映像出力は、以下のとおりです。

映像出力先	撮影モード		再生モード
	待機中	録画中	
カメラのモニター	○	○	○
テレビ	○	×	○

○：出力します　×：出力しません

テレビに接続する(つづき)

不要電波軽減のため

● コア(付属)を取り付けてください。

<カメラ側>

● HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

テレビで再生する

- 接続後、テレビの入力をカメラを接続した端子に切り替えてください。
- 音声を再生する時も、カメラで再生する時と同じ操作で再生できます（音量はテレビで調整）。
- カメラで再生するときと同じ操作で再生できます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

Eye-Fi 連動機能について

市販の Eye-Fi カード（無線 LAN 内蔵 SD カード）をカメラに装着すると、撮影した静止画ファイルを無線 LAN 経由で自動的にパソコンなどに転送することができます。また、動画アップロード機能を搭載した Eye-Fi カードを使用すると、動画クリップファイルの転送が可能になります。Eye-Fi カードの設定は、Eye-Fi マネージャーで行ないますが 、このカメラでは、さらに以下の設定が可能です。

- Eye-Fi 自動転送の ON/OFF
- 電池残量による Eye-Fi 機能自動停止
- AC アダプター接続制限（カメラにより対応 / 非対応あり）
- SSID の登録 / 消去

Eye-Fi 連動機能の取扱説明書は、弊社のホームページで入手することができます。

<弊社ホームページへのアクセス方法>

①付属のXacti Software CD をパソコンにセットする
②インストール画面の [Xacti WH1E Web サポートページへ] をクリックする
③画面上のメッセージに従って、取扱説明書をダウンロードする
※取扱説明書を参照するには Adobe Reader が必要です。Adobe Reader を入手するホームページには、弊社ホームページからアクセスできます。必要に応じて Adobe Reader を入手してください。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	充電できない？	カメラの電源が入っている	カメラの電源を切ってください。
	充電しても、すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
		電池の寿命が尽きた	十分に充電したにも関わらず、消耗が著しく速い電池は、寿命が尽きたと考えられます。新しい電池をお買い求めください。
	充電が終わらない？	電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換する。それでも充電が終わらない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	表示が出る？	電池残量が少なくなった	付属のACアダプターを使用するか、充電済みの電池に交換してください。
撮影	マルチインジケータが赤色に点滅している？	記録ファイルをカードに書き込んでいる	故障ではありません。マルチインジケータが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは？	—	2M 2M：通常の写真（サービス版）サイズで印刷する場合に適しています。 1.1M 1.1M 0.9M 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは？	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはイメージセンサーに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには？	—	シーンセレクト機能を風景モードに設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカス MF にして、焦点距離を∞に設定してください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある?	モニターの性質による現象	故障ではありません。輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある?		
再生画像	画像が明るすぎる?	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない?	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、[📷] ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに [📷] ボタンを静かに押してください。
	画像が出ない(? 表示が出る)?	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	再生画像が歪む	撮影中に被写体が動いたりカメラを動かすと、画像が歪む場合があります。	故障ではありません。CMOS センサーの特性によるものです。

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い？	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い？	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。
	パソコンで加工した画像や音声をカメラで再生したい？	―	パソコンで加工したファイルの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画再生でモーター音のような音がする	カメラの動作音を録音した	故障ではありません。
テレビでの再生	音声が出ない?	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整してください。
印刷	PictBridge印刷中にメッセージが出た？	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	[設定の異なる動画ファイルは編集できません]表示が出る	異なる動画モードで撮影した動画クリップをつなぎ合わせようとした	同じ動画モードで撮影した動画クリップを選択してください。
	充電中、テレビやラジオからノイズが出る?	ACアダプターからの電磁波が影響している	テレビやラジオから離れた場所で、充電してください。
	[カード残量がありません]表示が出る?	カードに空き容量がない	不要なファイルを消去するか空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	ACアダプターおよび電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。
	記録や再生ができないなどの不調が発生する	カードの動作不良	推奨するカードを使ってください。推奨するカードは下記のホームページで確認してください。http://www.sanyo-dsc.com/
		カードに、このカメラ以外の機器で記録したファイルを格納している	大切なファイルを保存した後、カードをフォーマットしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	海外で使用できる？	—	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。ただし、テレビの方式は「PAL」と「NTSC」が切り替え可能です。付属品などについては、下記にご相談ください。 デジタルシステムカンパニー デジカメお客さま相談係 (072)870-4184 受付時間:月曜日～金曜日 9:00 ～12:00、 13:30 ～17:00 （日曜、祝日および当社の休日を除く）
	[システムエラー]表示が出る？	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

仕　様

カメラの仕様

項目	仕様
記録画像ファイルフォーマット	**静止画：**JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**ISO標準MPEG-4 AVC/H.264準拠* **音声：**MPEG-4オーディオ（AAC圧縮）48kHzサンプリング、16ビット、ステレオ
記録媒体	内蔵メモリ：約43MB SDメモリーカード（最大32GB SDHCメモリーカードに対応）
撮像素子/カメラ部有効画素数	1/6型CMOSセンサー 静止画：約110万画素 ムービー（HDモード）：約97万画素 ムービー（SDモード）：約110万画素
静止画撮影モード（記録画素数）	2M：1,600×1,200ピクセル（約200万画素） 1.1M：1,184×888ピクセル（約110万画素） 0.9M：1,280×720ピクセル（約90万画素・16：9） 0.3M：640×480ピクセル（約30万画素） 2M連写：1,600×1,200ピクセル（約200万画素・連写） 1.1M連写：1,184×888ピクセル（約110万画素・連写）
動画クリップ撮影モード（記録画素数）	HDモード HD-SHQ：1,280×720ピクセル、30fps（30p） SDモード TV-HR：640×480ピクセル、60fps（60p） TV-SHQ：640×480ピクセル、30fps（30p） ※このカメラの60fpsは59.94fps、30fpsは29.97fpsです。

*DMX-CA65、DMX-CG65で撮影した動画クリップファイルは本機と同じH.264フォーマットですが、データ圧縮方法などの違いにより互換性がないため、再生しません。

ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能
レンズ	焦点距離： f =2.5〜75.0mm　光学30倍ズーム 開放：F=1.8(wide)〜4.3(tele) 7群10枚(非球面2枚3面) ガルバノメータ方式絞り機構 NDフィルター搭載 35mmフィルムカメラ換算 静止画撮影時：43〜1,290mm(30倍) 動画クリップ撮影時：43〜1,290mm(30倍)
露出制御方式	プログラムAE/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出制御 撮影設定画面による露出補正機能あり(0±1.8EV 0.3EVステップ)
測光方式	多分割測光、中央重点測光、スポット測光
撮影範囲	ノーマルモード　　　：50cm〜∞ スーパーマクロモード：1cm〜1m(Wide端のみ)
デジタルズーム	撮影時：1〜約50倍 再生時：1〜25倍(解像度により異なる)
シャッタースピード	静止画撮影モード：1/2〜1/500秒 (最長約2秒：シーンセレクト機能ランプ[icon]時) (フラッシュ発光時：1/30〜1/500秒) 連写撮影モード：1/15〜1/500秒(フラッシュ非発光) 動画クリップ撮影モード：1/30〜1/10,000秒 (最長1/15秒：シーンセレクト機能ランプ[icon]高感度モード時)
感度	静止画(標準出力感度*)/動画クリップ撮影モード： オート(動画クリップ撮影時：ISO50〜800、静止画撮影時：ISO50〜200)/ISO50、100、200、400、800、1,600(撮影設定画面による切り替え) ※感度はISO(ISO12232：2006)準拠の測定方法による。 ※シーンセレクト[icon]設定時、ISO感度1,600相当まで増感
最低被写体照度	11ルクス(AUTO時、1/30秒) 3ルクス(高感度モードまたはランプモード時、1/15秒)

仕　様（つづき）

項目		
手ぶれ補正	動画：電子式 静止画：電子式	
モニター	2.5型低温ポリシリコンTFTカラー液晶 約15万画素	
フラッシュ撮影範囲	GN=3.8 ｛約50cm〜4.2m（Wide） 約80cm〜1.8m（Tele）	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止	
フォーカス	TTL方式AF（静止画撮影モード：9点測距/スポット、動画クリップ撮影モード：コンティニュアス）・マニュアルフォーカス（22段階）	
セルフタイマー	作動時間：約2秒/10秒	
使用環境	温度	0〜40℃（動作時） 0〜35℃（充電時） −20〜60℃（保管時）
	湿度	30〜90%（動作時、非結露） 10〜90%（保管時、非結露）
防水機能	JIS 保護等級 8 相当（当社試験方法による） 水深 3.0m 未満、60 分以内使用可能	
電源	電池（付属）	リチウムイオン電池（DB-L50）×1個
	AC アダプター（付属）	VAR-G10
消費電力		3.0W（リチウムイオン電池使用・記録時）
大きさ（突起部含まず）		58.7（幅）×112.4（奥行き）×62.8（高さ）mm（最大寸法） 体積：約327cc
質量		約311g（本体のみ（電池・カード別）） 約354g（電池・カード込み）

カメラ各端子の仕様

[USB/AV](通信)端子	専用ジャック	
	USB	USB 2.0 High-Speed PC カメラ：USB ビデオクラス
[HDMI]端子	映像出力 総走査線数(有効走査線数)：750p(720p)/ 525p(480p) 音声出力：L-PCM　48kHzサンプリング	

電池寿命

撮影時	静止画撮影モード	約 470 枚：CIPA 規格によります(SanDisk 製 2GB SD メモリーカード使用時)
	動画クリップ撮影モード	約 200 分：HD-SHQ で撮影した場合
再生時		約 570 分：モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温(25℃)で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用した時は、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

仕　様（つづき）

撮影可能枚数/時間、録音可能時間

撮影/録音モード設定	画質設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類	
			8GB使用時	16GB使用時
静止画撮影モード	2M	32枚	5,790枚	11,600枚
	1.1M	39枚	7,110枚	14,200枚
	0.9M	41枚	7,540枚	15,100枚
	0.3M	53枚	9,570枚	19,200枚
	2M(連写)	32枚	5,790枚	11,600枚
	1.1M(連写)	39枚	7,110枚	14,200枚
動画クリップ撮影モード	HD-SHQ	38秒	1時間55分	3時間51分
	TV-HR	56秒	2時間51分	5時間43分
	TV-SHQ	1分49秒	5時間32分	11時間
音声記録モード	ー	43分	130時間	261時間

- 音声の連続記録時間が約13時間を超えると、いったんファイルを保存して、続きを新しいファイルに保存します。動画クリップ撮影モードでは、記録中のファイルサイズが4GBを超えると、いったんファイルを保存し、続きを新しいファイルに保存します（4GBごとのファイルを自動作成します。停止状態にするまで記録状態を継続しますが、ファイルを保存している間は、動画クリップや音声の記録を停止します）。
- 上記はSanDisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

マルチインジケータについて

カメラのマルチインジケータは、さまざまな動作状態によって点灯、点滅、消灯します。

<table>
<tr><th colspan="3">点灯/点滅状態</th><th>カメラの状態</th></tr>
<tr><td rowspan="2">緑色</td><td colspan="2">点灯</td><td>パソコン/プリンタ接続時</td></tr>
<tr><td colspan="2">点滅</td><td>パワーセーブ状態</td></tr>
<tr><td>オレンジ色</td><td colspan="2">点灯</td><td>テレビ接続時</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤色</td><td colspan="2">点灯</td><td>充電中</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点滅</td><td>遅い</td><td>電池充電エラーまたはカメラ内部温度上昇</td></tr>
<tr><td>速い</td><td>セルフタイマー撮影中</td></tr>
<tr><td>さらに速い</td><td>メモリアクセス中</td></tr>
</table>

仕　様（つづき）

付属のACアダプターの仕様

品番		VAR-G10
電源		AC100V～240V, 50/60Hz
定格出力		DC5V 2.0A
使用環境	温度	0～40℃（動作時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	20～80%（非結露）
大きさ		48.0（幅）×77.0（奥行き）×28.5（高さ）mm
質量		約115g（電源コードは含まず）
電源コードの定格		AC125V、5A

- 付属のACアダプターを海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P58]」にお問い合わせください。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L50
電圧		3.7V
容量		1,900mAh（Typ.）
使用環境	温度	0～40℃（機器使用時） －10～30℃（保管時）
	湿度	10～90%（非結露）
大きさ		53.1（幅）×35.3（奥行き）×11.4（高さ）mm
質量		約41g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたファイルの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROMの使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することはできません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

ArcSoftは米国またはその他の国における商標または登録商標です。

ソフトウェア Red Eye by FotoNation™ 2003-2005 は、FotoNation®社の商標です。

Red Eye software© 2003-2005 FotoNation In Camera Red Eyeは、米国特許(No. 6,407,777)および申請中特許を使用しています。

SDHCは商標です。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Eye-Fiは、アイファイジャパン株式会社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　三洋電機株式会社 お客さまセンター

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	☎ 050－3116－3434

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)－6994－9570** へおかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2－5－5

FAX：大阪(06)6994－9510

家電商品の修理サービスについてのご相談　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日 ～ 金曜日　9：00～18：30

（7～8月）　8：45～19：30

土曜・日曜・祝日・当社休日　9：00～17：30

修理相談窓口

◆東京コールセンター

（050-がご利用できない場合は、東京03-5302-3401へおかけください）

北海道地区	☎ 050－3116－2333
東北地区	☎ 050－3116－2444
関東・甲信越地区	☎ 050－3116－2222

お客さまご相談窓口（つづき）

◆ 大阪コールセンター
（050-がご利用できない場合は、大阪06-4250-8400へおかけください）

地区		電話番号
近畿地区		☎ 050－3116－2555
中部・北陸地区	北陸	☎ 050－3116－2555
	中部	☎ 050－3116－2666 沼津地区は、 ☎ 050－3116－2222
中国・四国地区	中国	☎ 050－3116－2777
	四国	☎ 050－3116－2555
九州地区		☎ 050－3116－2888

地区	電話番号
沖縄地区	☎ 098－944－5018

（※）沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～17:30（日曜、祝日、当社休日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

☆上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は
ホームページ http://jp.sanyo.comをご覧ください。

お客さまご相談窓口（つづき）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋電機サービス株式会社

北海道地区

北海道

札幌サービスセンター
☎(011)831－9201
〒003-0013 札幌市白石区中央三条4－1－36

旭川サービスステーション
☎(0166)22－2421
〒070-0073 旭川市曙北三条7－3－3

函館サービスステーション
☎(0138)48－8301
〒041-0824 函館市西桔梗町589－295

釧路サービスステーション
☎(0154)22－1576
〒085-0035 釧路市共栄大通3－1－6

北見サービスステーション
☎(0157)23－4871
〒090-0037 北見市山下町4－7－14

東北地区

青森県

青森サービスステーション
☎(017)729－3401
〒030-0141 青森市大字上野字山辺29－5

岩手県

盛岡サービスセンター
☎(019)623－1600
〒020-0824 盛岡市東安庭2－10－6

宮城県

仙台サービスセンター
☎(022)287－8351
〒984-0032 仙台市若林区荒井字丑ノ頭43－1

秋田県

秋田サービスステーション
☎(018)862－6551
〒011-0901 秋田市寺内イサノ93－1

東北地区

山形県

山形サービスステーション
☎(023)641－1769
〒990-2331 山形市飯田西4－5－35

福島県

郡山サービスステーション
☎(024)945－6793
〒963-0107 郡山市安積3－120

関東・甲信越地区

茨城県

水戸サービスステーション
☎(029)251－4125
〒311-4152 水戸市河和田3－2386－1

つくばサービスステーション
☎(029)864－4751
〒300-3261 つくば市花畑2－15－3

栃木県

宇都宮サービスステーション
☎(028)684－2551
〒321-0151 宇都宮市西川田町53－1

群馬県

高崎サービスステーション
☎(027)362－1151
〒370-0004 高崎市井野町338－1

大泉サービスステーション
☎(0276)63－4401
〒370-0524 邑楽郡大泉町古海541-9

埼玉県

さいたまサービスセンター
☎(048)778－3095
〒362-0025 上尾市上尾下780－1

坂戸サービスステーション
☎(049)284－8900
〒350-0214 坂戸市千代田5－3－17

千葉県

千葉サービスセンター
☎(043)208－3800
〒260-0842 千葉市中央区南町3-7-15

関東・甲信越地区
鎌ケ谷サービスステーション ☎(047)441–0111 〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7–6–59
東京都
武蔵野サービスセンター ☎(042)364–7721 〒183-0033 府中市分梅町5–9–1
城東サービスステーション ☎(03)5697–8160 〒120-0005 足立区綾瀬7–22–15 綾瀬7丁目ビル
城北サービスステーション ☎(03)5914–3413 〒174-0051 板橋区小豆沢(アズサワ)1–23–10
城西サービスステーション ☎(03)5347–0761 〒167-0032 杉並区天沼3–12–12 テック杉並
相模原サービスステーション ☎(042)788–2760 〒194-0012 町田市金森851–3
神奈川県
横浜サービスセンター ☎(045)827–2831 〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃9–14
京浜サービスステーション ☎(044)740–3530 〒211-0041 川崎市中原区下小田中5–11–21
平塚サービスステーション ☎(0463)55–3926 〒254-0014 平塚市四之宮3–20–60
新潟県
新潟サービスセンター ☎(025)285–2431 〒950–0951 新潟市中央区鳥屋野187–19
長岡サービスステーション ☎(0258)46–8065 〒940-2127 長岡市新産2–8–6

関東・甲信越地区
山梨県
甲府サービスステーション ☎(055)226–2561 〒400-0035 甲府市飯田4–8–23

中部・北陸地区
富山県
富山サービスステーション ☎(076)422–7020 〒939-8211 富山市二口町1–13–8
石川県
金沢サービスセンター ☎(076)235–3310 〒920-0025 金沢市駅西本町6–6–13
福井県
福井サービスステーション ☎(0776)53–7134 〒910-0834 福井市丸山1–1002
長野県
松本サービスステーション ☎(0263)40–3411 〒390-0852 松本市島立1064–1
岐阜県
岐阜サービスステーション ☎(058)246–3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1–35
静岡県
静岡サービスセンター ☎(054)236–0691 〒422-8034 静岡市駿河区高松2–26–10
沼津サービスステーション ☎(055)935–0501 〒410-0822 沼津市下香貫七面1152–2
浜松サービスステーション ☎(053)461–8685 〒430-0812 浜松市南区本郷町123

中部・北陸地区

愛知県
名古屋サービスセンター
☎(052)485－3620
〒453-0816 名古屋市中村区京田町2－1

岡崎サービスステーション
☎(0564)23－3418
〒444-0009 岡崎市小呂町字2－30

三重県
津サービスステーション
☎(059)236－5195
〒514-0111 津市一身田平野285－2

近畿地区

滋賀県
滋賀サービスステーション
☎(077)514－2221
〒524-0021 守山市吉身4－1－24 南井産業第3ビルB棟

京都府
京都サービスセンター
☎(075)672－0877
〒601-8135 京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル

福知山サービスステーション
☎(0773)24－3405
〒620-0062 福知山市和久市町290 和久市岩堀ビル２階

大阪府
大阪サービスセンター
☎(06)6992－6235
〒570-0086 守口市竹町4－13

大阪南サービスステーション
☎(06)6761－4600
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5－1－14 三洋ビル2F

大阪東サービスステーション
☎(072)965－1811
〒578-0903 東大阪市今米2－3－29

阪和サービスステーション
☎(072)258－5001
〒591-8025 堺市北区長曽根町3068-5

兵庫県
神戸サービスセンター
☎(078)651－3951
〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町2−2−18

阪神サービスステーション
☎(06)6432－3401
〒661-0026 尼崎市水堂町4－17－6

姫路サービスステーション
☎(079)282－7892
〒670-0943 姫路市市之郷町1－9

淡路サービスステーション
☎(0799)42－6015
〒656-0478 南あわじ市市福永536－1

奈良県
奈良サービスステーション
☎(0744)22－7888
〒634-0817 橿原市寺田町113－1

和歌山県
和歌山サービスステーション
☎(073)473－7112
〒640-8301 和歌山市岩橋1636－1

中国地区

鳥取県
鳥取サービスステーション
☎(0857)24－2930
〒680-0843 鳥取市南吉方3－107

島根県
松江サービスステーション
☎(0852)23－1183
〒690-0044 松江市浜乃木2－15－3

中　国　地　区

岡山県
岡山サービスセンター
☎(086)245−1634
〒700-0973 岡山市下中野703−101

広島県
広島サービスセンター
☎(082)279−0170
〒733-0833 広島市西区商工センター4−9−9 協和ビル

福山サービスステーション
☎(084)954−4101
〒721-0952 福山市曙町4−22−10

山口県
山口サービスステーション
☎(083)973−3391
〒754-0024 山口市小郡若草町2−6

四　国　地　区

徳島県
徳島サービスステーション
☎(088)699−4131
〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189−1

香川県
高松サービスセンター
☎(087)843−1840
〒761-0101 高松市春日町字片田1657−1

愛媛県
松山サービスステーション
☎(089)979−3486
〒799-2655 松山市馬木町2057

四国中央サービスステーション
☎(0896)23−3416
〒799-0404 四国中央市三島宮川2−732−4

高知県
高知サービスステーション
☎(088)885−3411
〒781-8121 高知市葛島2−8−9

九　州　地　区

福岡県
福岡サービスセンター
☎(092)441−2541
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4−6−23

北九州サービスステーション
☎(093)521−5286
〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町2−4−7

久留米サービスステーション
☎(0942)37−3934
〒830-0038 久留米市西町105-18

長崎県
長崎サービスステーション
☎(095)813−3545
〒851-0101 長崎市古賀町1006−5

佐世保サービスステーション
☎(0956)31−7635
〒857-1162 佐世保市卸本町17−1

熊本県
熊本サービスセンター
☎(096)388−3434
〒861-8045 熊本市小山3−2−11 熊本トラックターミナル内

大分県
大分サービスステーション
☎(097)543−3454
〒870-0829 大分市椎迫5−6

宮崎県
宮崎サービスステーション
☎(0985)29−3441
〒880-0022 宮崎市大橋3−224

鹿児島県
鹿児島サービスステーション
☎(099)251−4615
〒890-0068 鹿児島市東郡元町12−14

沖　縄　地　区(※)

沖縄県
沖縄三洋販売株式会社 サービス部
☎(098)944−5018
〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

☆**住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。**

アフターサービスについて

■この商品には保証書(本書裏表紙)がついています。
保証書の所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は裏表紙と68ページ「無料修理規定」をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P58]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DMX-WH1E)
3. お買い上げ年月日(保証書に記入)
4. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：(365日) 9：00〜18：30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電商品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎ 大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2−5−5
FAX：大阪(06)−6994−9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋電機サービス株式会社の「修理相談窓口 [P58]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

デジタルシステムカンパニー　デジカメお客さま相談係

電話　大東（072）−870−4184（直通）

アフターサービスについて(つづき)

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　番	DMX-WH1E
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	電話(　)　—
もよりのお客さまご相談窓口	電話(　)　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows XP □Windows Vista	□Mac OS X バージョン：

無料修理規定

裏表紙の保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
　ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．保証書の提示がないとき。
　ヘ．保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品(例えば電池など)の交換。
　　※防水仕様のカメラは防水性能維持のためのゴム部品などの交換を含む。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（58ページ)をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

6．保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●裏表紙の保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口(58ページ)にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは65ページをご覧ください。

●修理メモ